

年頭のご挨拶



香川県中小企業団体中央会

会長 古川 康造

明けましておめでとうございます。

皆様方には、令和8年の輝かしい新春をお健やかに迎えのことに心からお慶び申し上げます。

また、平素は本会の運営に際しまして、格別のご支援とご協力を賜っておりますことに深く感謝申し上げます。

昨年を振り返りますと、まず大規模な地震や山火事などの自然災害に見舞われた年となりました。一方で、訪日客数3,000万人突破や大阪・関西万博の成功など、明るい話題もありました。

わが国経済は、米国との相互関税による影響が見られるものの、緩やかに回復しております。しかしながら、中小企業や小規模事業者を取り巻く環境は、物価高の長期化や人手不足の深刻化など、依然として厳しい状況が続いております。

国及び香川県等におかれては、我々中小企業・小規模事業者は、わが国経済の活力の源泉であり、地域の産業と雇用を支える礎として、人手不足解消や生産性向上を後押しするためのものづくり補助金や省力化投資補助金、また物価高騰へ対応するための支援策等を実行していただいております。しかし、我々中小企業・小規模事業者が生き残っていくためには、公的な支援に依存するだけでなく、改めて自身の経営資源を見直すなどの経営改革に取り組むことが求められております。

こうした中、我々が多様な課題に前向きに対応していくためには、時代の変化を的確に把握し、個々の事業者では対応が難しい経営課題について、中小企業組合等の連携組織を積極的に活用し、協同により足らざる経営資源を補完・補強し合い、自らの成長力を強化して経営の持続性の確保を図ることが肝要であると考えております。

本会では、会員組合及び組合員の皆様並びに地域の振興発展のため、中小企業団体に対する唯一の専門支援機関として、組合等の連携強化や組織化による創業支援、新分野に進出する中小企業組合への支援など、国や県の中小企業施策に沿った各種事業をより一層積極的に推進いたします。また、厳しい経営環境の中、果敢にチャレンジしようとする意欲ある中小企業・小規模事業者と組合の皆様の一助となれますよう、本県中小企業の生産性向上に向けた支援を積極的に展開してまいります。

結びに、中小企業組合をはじめとする関係者の皆様方にとって、新たな飛躍の一年となりますことを心よりご祈念申し上げまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

令和8年 年頭所感



四国経済産業局長
吉田 健一郎

令和8年の新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年、「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに開催された大阪・関西万博は、累計2,900万人の方々にご来場いただき、大きな成功をおさめることができました。四国からも、施設や運営への資材の提供や地域資源を活用した新商品・新サービスの展示、地域の伝統文化の紹介が行われ、世界に対して、いのち輝く未来社会の実現に向けたメッセージが発信されました。皆様のご協力に改めて感謝申し上げます。

さて、賃上げや国内投資が約30年ぶりの高水準となり、名目GDPも600兆円の台台を超えるなど、日本経済には明るい兆しが現れています。しかしながら、景気は十分に強くなく、世界経済の先行きには不透明感があり、国内では人口減少や少子高齢化といった構造的な課題が深刻となる中、日本経済は「デフレ・コストカット型経済」から脱し切れてはいません。「成長型経済」を目指し、「強い経済」を実現していくためには、日本の活力である地方の力を存分に発揮していくことが重要です。

経済産業省としては、地域の中小企業・小規模事業者の皆様が生産性の向上等によって「稼ぐ力」の強化と賃上げの好循環が実現できるよう、価格転嫁対策を徹底するとともに、中堅企業や売上高100億円を目指す中小企業の成長投資、中小企業・小規模事業者の生産性向上に向けた取組、事業承継・M&A等による事業再編を様々な施策を総動員して支援していきます。

また、地域発で世界をリードする技術やビジネスを創出し、地域を超えて活躍する企業を生み出すことを通じて、自立的かつ持続的に稼げる地方経済を目指してまいります。

日本経済は「デフレ・コストカット型経済」から「成長型経済」への移行できるかどうかの分岐点に立っています。地域経済の好循環と四国経済の活性化に向け、当局職員一同、関係機関と連携しながら取組を着実に推進してまいります。

本年も一層のご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

新しい年を迎えて



香川県知事
池田 豊人

明けましておめでとうございます。

皆様方には、日頃から香川県政各般にわたり、格別のご理解とご協力をいただいております。厚くお礼を申し上げます。また、組合等の連携組織による事業活動の活性化を通じて中小企業の振興や地域経済の発展に多大なご貢献をいただいておりますことに重ねて感謝申し上げます。

昨年を振り返りますと、県内では企業の生産活動や設備投資などの改善が順調に進み、県経済は着実に回復に向かっております。また、県立アリーナの開業や瀬戸内国際芸術祭の開催などにより、消費活動やにぎわいの創出、本県の認知度向上にも大きなインパクトがあった年となりました。

本年はこうした良い流れをさらに力強いものにして県経済や県勢の一層の発展に繋げられるよう取り組んでまいります。このため現在、産業や観光の振興、子どもの出生数の反転と若者の県内定着、にぎわいの県内全域への波及、南海トラフ地震の被害想定見直しを踏まえた防災・減災対策など、本県の未来への投資に必要な施策を盛り込んだ令和8年度当初予算の編成を進めております。

そうした中、中小企業・小規模事業者の皆様がご苦勞されている、人手不足や物価・人件費の高騰、価格転嫁、資金繰り、後継者不在などは、喫緊の課題でありますことから、国が決定した「総合経済対策」や「令和7年度補正予算」を踏まえ、県においても早急に対策を講じてまいります。どうか皆様方には、引き続き、地域経済の発展と活力ある地域づくりに一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

さて、本年から12月3日を「香川県民の日」とすることといたしました。県民の皆様が「ふるさと香川」の魅力に改めて触れ、思いを深めていただけるような日としてまいりますので、皆様方におかれましても、各地域でふるさとの記憶や感情を呼び起こすような取組みを検討いただくなど、香川で住み続ける方、香川で頑張る方を応援していただけますと幸いです。

結びに、本年が明るく希望に満ちた年となりますよう祈念しますとともに、香川県中小企業団体中央会並びに会員の皆様のますますのご発展と、ご健勝、ご活躍をお祈りいたします。

年頭に当たって



全国中小企業団体中央会
会長 森 洋

明けましておめでとうございます。令和8年の年頭に当たり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は、戦後80年の節目の年でした。中小企業・小規模事業者は、激変する経済環境の中で多くの困難な課題を克服しながら、その時々の経済、社会環境に対応出来るよう積極果敢に挑戦を続け、わが国経済の発展に大きな役割を果たして参りましたが、現在、新たな経営課題が山積しております。関税の引上げをはじめとする自国中心的な政策の影響が世界経済に大きな影響を与え、国内でもインバウンド消費額も影響を受けることに加え、依然として物価高騰が続く中での人手不足と賃上げへの対応が急務となるなど、中小企業・小規模事業者を取り巻く経営環境は、厳しい状況に直面しております。

こうした中で、昨年11月12日に広島県広島市で開催した第77回中小企業団体全国大会では、関係省庁・関係機関をはじめ多数のご来賓をお迎えし、全国各地から中小企業団体の関係者約2,100名が参集し、

- I. 中小企業・小規模事業者等の経営環境変化対応、成長促進支援等の拡充
- II. 中小企業・小規模事業者の実態を踏まえた労働・雇用・社会保険料対策の推進
- III. 中小企業・小規模事業者の積極的な事業活動を支える環境整備

の実現に向けて、組合関係者の皆様と共に取り組んでいくことを決議しました。

地域の人口減少に加え地域課題が多様化・複雑化していることを踏まえつつ、十分な価格転嫁と取引適正化、物価高を上回る賃上げ、事業承継・事業引継、自然災害対策、DXやGXの推進、新分野展開、ものづくり補助金や省力化投資補助金による生産性向上、リスクリング等の「人への投資」、外国人育成就労制度・特定技能制度への対応策などの最重要事項については、中小企業組合等連携組織による知恵と力の結集により解決を図ることが必要です。今年も中小企業と組合が我が国の力強い成長を実現する原動力であることを強く思いながら、会員の皆様との連携を一層強化し、対応して参ります。

結びに、丙午の年は「勢いとエネルギーに満ち、大きく飛躍・発展していく」といった意味合いをもつ年とされています。本年が、中小企業組合と中小企業・小規模事業者の皆様の情熱に満ちたご活動が実を結び、力強く飛躍される年となりますことを心よりご祈念申し上げまして、新年のご挨拶といたします。

令和8年元旦

年頭所感



株式会社商工組合中央金庫
高松支店長 川上 健太郎

新年明けましておめでとうございます。令和8年の新春を迎えるにあたり、所感の一端を申し述べ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

昨年は、個人消費の緩やかな回復やインバウンド需要は好調であった一方で、物価や賃金上昇、金利のある世界への移行、米国の通商政策、AI・ロボティクス技術の急速な進化等、日本経済を取り巻く環境が大きく変化した1年となりました。

私ども商工中金においては、2025年6月の政府保有株式の全部売却完了と改正商工中金法の施行により、民営化という大きな転機を迎えることとなりました。この民営化により当金庫は「中小企業による中小企業のための金融機関」として、そして「企業の未来を支えていく。日本を変化につよくする。」というPURPOSEの実現に向けた新たなスタートラインに立ちました。

こうした中、今後、私たちがどのような立ち位置で社会と向き合うべきか、どのような価値を創出すべきかという観点で「商工中金グループのありたい姿」の議論を重ね、この度、長期戦略の骨子を策定しました。その核となる概念が、中小企業を個社として捉えるのではなく、その集合体として捉え

る「中小企業経済圏」です。

中小企業と地域社会にかかわる多様なステークホルダーが集まる「中小企業経済圏の拡大・活性化を通じて、圏の参加者の価値向上に貢献し続ける」という「商工中金グループのありたい姿」を設定しました。当金庫は、単なる金融機関の枠を超えて「集めて・つなげて・価値を創る」プロデューサーの役割を果たし、中小企業と地域社会にかかわる多様なステークホルダーと、ともに考え、ともに創り、ともに変わりつづけます。

おかげさまで商工中金は本年12月に創立90周年を迎えます。この場をお借りして、ご支援いただいた様々なステークホルダーの皆さまへ感謝申し上げますとともに、引き続き皆さまから信頼され、支持され、これまで以上にお役に立てるよう、高松支店社員一同、全力で努力を続けてまいります。

本年が皆様にとって素晴らしい年でありますよう、また、香川県中小企業団体中央会の益々のご発展と、会員企業皆さまのご繁栄ならびにご健勝をご祈念し年頭のご挨拶とさせていただきます。

令和8年元旦

明けましておめでとうございます

令和8年



本年もよろしく
お願い申し上げます

香川県中小企業団体中央会

会 長	古川 康造	香川県商店街振興組合連合会	理 事	末包 賀裕	香川県造園事業協同組合
副 会 長	松永 雪夫	香川県生コンクリート工業組合	//	藤井 武志	香川県室内装飾事業協同組合
//	大峯 茂樹	香川県産業振興事業協同組合	//	片岡 伸介	香川県屋外広告美術協同組合
//	三矢 昌洋	香川県ホテル旅館生活衛生同業組合	//	三好 浩之	香川エルピーガススクリーン協同組合
//	佐々木 正富	建設協同組合高松総合センター	//	樋口 高良	香川県臨海企業団地協同組合
専務理事	岡 興司	専 従	//	鎌田 由美子	香川県食糧事業協同組合
常任理事	楠井 芳則	香川県縫製品工業協同組合	//	佐藤 佳生	香川県電気工事業工業組合
//	中川 悟	香川県管工事業協同組合連合会	//	棚次 啓二	日本手袋工業組合
//	増田 浩	瀬戸内食品加工協同組合	//	大野 英作	小豆島調理食品工業協同組合
//	川原 陸	香川県美容業生活衛生同業組合	//	岩佐 武彦	協同組合日専連高松
//	岡 隆夫	香川県中古自動車販売商工組合	//	木下 敬三	香川県製粉製麺協同組合
//	真鍋 道雄	香川県農機具商工業協同組合	//	島 啓	香川県印刷工業組合
//	国東 宣之	香川県石油商業組合	//	吉田 孝一	公益社団法人香川県宅地建物取引業協会
//	二川 隆一	香川県食肉事業協同組合連合会	//	味本 圭祐	協同組合オリーブエコサービス
//	小竹 和夫	香川県建築事業協同組合	//	若葉 精志	赤帽香川県軽自動車運送協同組合
理 事	楠木 寿嗣	一般社団法人香川県トラック協会	//	三好 康治	庵治石開発協同組合
//	神原 満	川重坂出事業協同組合	//	須佐美 裕一	小豆島手延素麺協同組合
//	辻村 啓一	香川県砕石事業協同組合	//	香川 隆昭	本場さめきうどん協同組合
//	向井 幸司	香川県自動車整備商工組合	//	太田 武志	中央会青年部
//	篠原 公七	香川県火災共済協同組合	監 事	和泉 一郎	仕出し協同組合スプリング
//	岩崎 康誠	香川県タクシー協同組合	//	上村 芳久	四国鍍金工業組合
//	白井 正人	香川県家具商工業協同組合	//	近藤 善和	国際経済交流協同組合

蹦蹦車に乗ってきました



正岡 利朗
(高松大学経営学部 教授)

Toshiro
Masaoka

皆さま、明けましておめでとうございます。当方の担当も23年目に突入しましたが、本年もどうぞよろしく願い申し上げます。今回の話題は1年半ぶりの「台湾」です。前回(2024年7月号)は「乗り鉄」に特化した内容を書きましたが、その後、昨年3月に高雄、11月に宜蘭を拠点にした旅を行っています。その目的は台湾鉄路全路線完乗と、余裕ができたために「温泉」と「B級グルメ」にも食指を伸ばしていることです。当方の台湾旅行には、これら以外に求めること・モノが今のところないのです。

3月では阿里山森林鉄路に乗車してきました。チケット確保は、難易度は高いものの、日本にいても事前にできるので、乗車当日は景色を堪能しました。そして、11月、宜蘭のホテルを予約する段階で3日間を確保しましたが、ここを拠点にした理由は、台鉄の未乗車区間「蘇澳新～蘇澳(3.4km)」を乗車することと、ネギの名産地であるのでネギを使ったB級グルメを味わうこと、さらに温泉地である礁溪で温泉に入ることです。しかし、これらだけなら3日も必要ないことがプランニングの段階で判明したので、何か他にやることはないかとネット検索したところ、「宜蘭の奥にある標高約2,000mの太平山国家森林遊楽区で蹦蹦車(ボンボンカー)が運行されている」という情報が目に止まりました。

ボンボンカーは、森林から切り出した木材を運び出すために使われたかつての鉄路が一部保存されている、いわゆるトロッコ列車なのですが、ボンボンの謂われはエンジン音やら木材が車体に当たる音やらに依るようです。そして、森林鉄道のムード満点とのことでぜひ乗ってみたいくなり、ボンボンカーや太平山に至る情報を集めました。しかし、太平山についての日本語での情報は少なく、何より、「地球の歩き方」や「宜蘭+台北」という宜蘭に特化した旅行案内書でも全然触られていないぐらいです。そこで、台湾語で書かれているHPの翻訳情報を主に頼りにして、旅程を立てていきました。

その過程で判明したことは、太平山に至る台北発(宜蘭経由)のツアーは各旅行社により多数設定されているのですが、公共交通では、「國光客運1750系統による宜蘭発の路線バスが毎日1往復のみ運行されていること」でした。たったの1往復とはずいぶん難易度が高いですね、そして、ボンボンカーについては、平日は8往復、土日祝日は9往復運行されていますが、「第2、第4火曜はメンテのため運休」という情報を得ました。当方が行く予定の日は火曜日でしたが運休日には該当せず、事なきを得ました。さらに可能な限りの事前情報を集め、落とし穴を可能な限り無くして、出国直前に旅程はなんとか完成したのですが、どうしてもわからない部分はまだ残っています。そこで、当日行けなくなった場合の代替プランも用意して、日本を出たのでした。

行く前日に宜蘭のバスターミナル窓口まで出向き、チケット(往復486元)を無事確保しました。ただし、ボンボンカーのチケット(公共バス利用者割引

価格で120元)は現地で購入しなければなりませんでした。太平山国家森林遊楽区のHPによると、土日祝日の午後便は完売が多いようですが、平日の午前中便はそこまででもないようです。当日になりましたが、朝からあいにくの雨、宜蘭では気温22℃のところ、昼頃の太平山は13℃とのことで、それなりの対策をしました。バスターミナルに到着して、1750系統の出発番線を係員に尋ねると、長距離バスの出る番線を指示されました。路線バスなのですが観光バス仕様の専用車両を用いており、座席数は43席、宜蘭・羅東での乗車は12人で、大半が台湾人の中高年でした。

7時40分に出発して、だいたい1時間半後から登りにかかり、すぐに遊楽区のゲートに到着し、ここで係員が車内に乗り込み、(公共バス利用者割引価格の)入場料100元を徴収します。その後は、平均勾配7%程度の登りとヘアピンカーブが約23km続きますが、出発2時間後に10分のトイレ休憩があります。10時30分の定刻に太平山の駐車場に到着、と言っても、太平山荘という中心施設まで500mほど歩きます。その後、ボンボンカーの駅まではさらに約200段の階段を上る必要があり、汗だくになります。11時30分発のチケットは無事購入でき、改札が始まった頃には天候も快晴になり、実にラッキーです。

ボンボンカーは、実際には11時25分には出発しました。それは2本が5分間隔で続行するからです。1列車の定員は9両×9名で81名、これを2倍して162名が1回のチケット販売分です。このときには1本目は満員でしたが、2本目は数十人乗車という感じでした。ほとんどが台湾人の老若男女で、英語はごくわずかに聞こえますが日本語は聞こえません。遊園地の乗り物のようにゴトゴト進み、見える景色は絶景です、その絶景を堪能するためには3人掛けで往路は進行方向左側に座る必要がありますが。

15分後、約2.5km先の終点茂興駅に到着します。人々は林道の散策をするべく好き勝手に散っていきませんが、発車時刻の13時に間に合うべくぼちぼち駅に帰ってきます。帰路は小雨が降りだし、濃い霧に包まれ、遠景はまったく見えなくなってしまいました。その後、帰りのバスの出発時刻14時30分まで太平山荘付近で暇を潰し、途中の鳩之澤温泉にて15時10分から1時間ほどの立寄休憩があります。同乗していた台湾人は誰も行きませんでした。温泉好きの当方は1人露天風呂に走り、公共バス利用者割引価格の50元を支払い、持参の水着着用で祖谷温泉並みの素晴らしい泉質を堪能しました(お湯に浸かっていられた時間は正味20分でしたが)。

このようにミッションを無事コンプリートし、公共交通を利用した旅費は格安ツアーの半額程度で収まりました。情報収集に費やした時間がそれに見合うのかどうかには大いに疑問符が付きますが…。

中央会だより 1

中小企業・小規模事業者活力強化香川県集会を開催

12月2日、香川県中小企業団体中央会、香川県商工会連合会、香川県商工会議所連合会及び香川県商店街振興組合連合会の商工4団体は、高松国際ホテル（高松市）において「中小企業・小規模事業者活力強化香川県集会」を開催しました。

この集会は地域の中小企業及び組織が一丸となって、中小企業・小規模事業者の活力ある成長・発展に向けた諸施策の展開を国・県等に要望し、その実現を図ることを目的に開催したものです。

当日は、四国経済産業局・吉田健一郎局長、香川県・大山智副知事、香川県議会・谷久浩一議長をはじめ、多数の来賓のご臨席のもと、4団体の役員など県下から中小企業経営者約170名が参加しました。

本会・古川康造会長が主催者代表として挨拶を行った後、香川県商工会連合会・丹生兼宏副会長が意見表明し、続いて、香川県商工会議所連合会・綾田裕次郎会長が下記6項目の集会決議を発表、全会一致で採択しました。最後に本会・古川康造会長が香川県商店街振興組合連合会理事長として閉会挨拶を行い、盛会のうちに集会を終了しました。



▲主催者代表挨拶を行う古川会長



▲集会の様子

【集会決議】

1. 地域経済の活力強化に関する要望
2. 人材確保・育成・定着に関する要望
3. 事業承継支援施策の拡充と創業支援施策に関する要望
4. デジタルトランスフォーメーションの推進に関する要望
5. 大規模災害に関する防災力強化の要望
6. 脱炭素社会実現に向けた取組みに関する要望

中央会からのお知らせ

新春講演会並びに交流会のご案内

香川県中小企業団体中央会新春講演会並びに交流会を下記のとおり開催いたしますので、ご案内いたします。

【香川県中小企業団体中央会新春講演会・交流会】

- 日 時 令和8年1月30日(金)16時00分～
- 場 所 高松国際ホテル 新館2階「瀬戸の間」高松市木太町2191-1 TEL.087-831-1511
- 内 容 新春講演会(16時00分～17時30分)
 テーマ／「がん検診を効率的に考える」
 講 師／香川大学医学部生体分子医学講座ゲノム医科学・遺伝医学 教授
 香川大学医学部附属病院 臨床遺伝ゲノム診療科 診療科長 隈元 謙介 氏
 新春交流会(17時40分～)
- 申込先 香川県中央会 総務企画部(高橋、高國、名和) TEL.087-851-8311

中央会だより 2

組合事務局代表者等研修会を開催

10月14日、11月4日にホテルパールガーデン（高松市）において、社会保険労務士の佐藤秀樹氏を講師にお迎えし、組合事務局代表者等研修会を開催、延べ100人が受講しました。

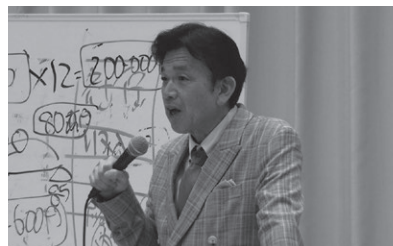
10月14日は、「どう変わる！2025年・育児介護休業法、改正のポイント」をテーマに説明いただきました。10月から施行された改正・育児介護休業



▲会場の様子（11月4日）

法については、男女ともに仕事と育児・介護を両立できるようにすること

を趣旨としており、育児期の柔軟な働き方を実現するための措置の拡充や介護離職防止のための雇用環境整備、個別周知・意向確認の義務化など企業側からの働きかけが求められることから、改正内容と実務対応の留意点についての説明がありました。また、11月4日の「大きく変わる年収の壁対策セミナー」では、年収の壁と税金や社会保険との関連性並びに企業対応の留意点についての説明があり、参加者は熱心に受講していました。



▲佐藤講師（11月4日）

中央会だより 3

外国人材雇用・労務セミナーを開催

11月14日、サンポートホール高松会議室（高松市）において、香川県と共催で外国人材雇用・労務セミナーを開催しました。はじめに弁護士法人 Global HR Strategy 代表弁護士 杉田昌平氏より「適正な外国人材雇用に向けて」をテーマに、外国人材受け入れ時の留意点や「育成就労」の最新情報等についての説明がありました。続いて、「外国人材に関する県内各機関の取組」について、香川県商工労働部並びに本会より説明ののち、後援者であるあいおいニッセイ同和損害保険株式会社より「外国人雇用・労務対策パッケージ」等のサービス・ツールについての詳細説明がありました。



▲杉田講師

講習会のお知らせ

第2回 外国人技能実習制度適正化事業講習会

1. 開催日時 令和8年1月27日（火） 13時30分～16時00分
2. 開催場所 ホテルパールガーデン2階「讃岐」（高松市福岡町2-2-1）
3. 内容 「育成就労制度の円滑な導入のためにー育成就労の概要についてー」
ブリック労働法務事務所／（一社）国際労働法務協会 代表理事
特定社会保険労務士 特定行政書士／橋本 裕介 氏

JASTI監査について～繊維業における特定技能制度～

1. 開催日時 令和8年2月18日（水） 13時30分～15時00分
2. 開催場所 香川県中小企業団体中央会 研修室（高松市福岡町2-2-2-401）
3. 内容 「JASTI監査について」
一般財団法人日本繊維製品技術センター(QTEC)担当者

中央会だより 4

小企業者組織化特別講習会を開催（若手経営者・後継者対象）

12月10日、リーガホテルゼスト高松（高松市）において、株式会社ミズ・オフィス代表取締役・土居珠見氏を講師にお迎えし、「ロジカルシンキング習得術」をテーマに小企業者組織化特別講習会を開催（若手経営者・後継者対象）、組合関係者ら約20名が出席しました。

相手にわかりやすく伝える方法や問題・課題を段階的に分解し、論理的に整理する考え方などについての説明があり、受講者は熱心に耳を傾けていました。



▲土居講師



▲講習会の様子

会員ニュース 1

クレーンオペレーター競技会を開催

香川県クレーン協同組合

香川県クレーン協同組合（佐々木弘隆理事長）は、11月2日、Honda セーフティトレーニングセンター四国（坂出市）において「クレーンオペレーター競技会」を開催しました。

本競技会は、組合員相互の親睦を深めるとともに、日頃培ったクレーン操作技術を披露・向上させることを目的として実施しており、第3回目となる今回は、組合員を中心に約70名が競技に参加しました。

競技では、オペレーターがクレーンを180度回転させ、制限時間内に指定された風船を順に割る実技が行われました。中には割ってはいけな

いトラップもあり、

正確さと判断力が求められる緊張感のある競技となりました。家族や仲間の声援が飛び交い、会場は大いに盛り上がりました。

その他、クレーン運転免許取得から40年を迎えたオペレーターに対する表彰式も行われ、長年にわたり安全操業と技術向上に尽力してきた功績に対し会場からは大きな拍手が送られました。

佐々木理事長は、「今後もこうした競技会や研修を通じて技術の向上と安全意識の高揚を図り、地域産業の発展と安全な作業環境づくりに貢献していきたい」と述べられ、盛況のうちに大会は幕を閉じました。



▲佐々木理事長（中央）より挨拶



▲声援を受けながら競技に臨む参加者

会員ニュース 2

高松市に期間限定のアウトレットショップを出店

日本手袋工業組合

日本手袋工業組合（棚次啓二理事長）は、12月6日～12月23日の間、高松丸亀町商店街の讃岐おもちゃ美術館でアウトレットショップを出店しました。

香川県東かがわ市は、日本一の手袋の産地として有名ですが、大手百貨店、量販店以外には手袋の大きな売り場が少なく、組合が運営する手袋資料館に併設されたショップが最大且つ唯一の手袋販売所となっています。そこで、令和元年より地元である香川県の人々に、東かがわ市の高品質な手袋などを広く知ってもらうことを目的として、高松市で期間限定のアウトレットショップを出店しています。

当店舗では、一般市場よりもお得に高品質な手袋、バッグや革小物を販売し、12月6日、7日にはガラポン抽選会が行われました。その他、同組合のゆるキャラである「てぶくろ君」とのふれ合い体験や手袋のオーダーメイド受注会など、多様な催しが展開され、盛況のうちに終了しました。



▲店内の様子



▲パーティション（手袋物語）



▲てぶくろ君

働く皆様に将来の安心を。



で退職金。

「中退共」は中小企業のための
国の退職金制度です。

① 国の退職金制度！

掛金の一部を国が助成します。

② 外部積立型でラクラク管理！

管理や運用の手間がかかりません。

③ 掛金は全額非課税でオトク！

節税に加え、手数料もかかりません。

● パートタイマーさんも
ご加入いただけます。

● 他の退職金・企業年金制度等
との資産移換も可能です。



詳しくはホームページ
をご覧ください。

独立行政法人勤労者退職金共済機構 中小企業退職金共済事業本部 TEL (03) 6907-1234 FAX (03) 5955-8211

BOOK RANKING

県内ベストセラー



順位	書名	著者	出版社／定価
1	成瀬は都を駆け抜ける	宮島未奈	新潮社／1,870円
2	変な地図	雨穴	双葉社／1,760円
3	ハーバード、スタンフォード、オックスフォード… 科学的に証明された すごい習慣大百科 人生が変わるテクニック112個集めました	堀田秀吾	SBクリエイティブ／1,760円
4	転生したらスライムだった件 23	伏瀬	マイクロマガジン社／1,430円
5	暁星	湊かなえ	双葉社／1,980円

香川県書店商業組合調べ

お知らせ

人手不足解消を目指す皆様へ ～「中小企業省力化投資補助金」のご紹介～

当補助金は、人手不足解消に効果のあるロボットやIoTなどの製品や設備・システムを導入するための支援が用意されています。

カタログ注文型

随時申請受付中

補助対象となる事業

中小企業などが省力化製品を**対象商品のリスト(カタログ)**から選んで導入し、販売事業者と共同で「労働生産性年平均成長率3%向上」を目指す事業計画に取り組むもの。

補助率と補助上限額

従業員数	補助率	補助上限額	大幅な賃上げを行う場合
5名以下	1/2以下	200万円	300万円
6～20名		500万円	750万円
21名以上		1,000万円	1,500万円

一般型

公募回制

補助対象となる事業

中小企業などが省力化効果のある**オーダーメイド・セミオーダーメイド性のある設備やシステム**などを導入し、「労働生産性年平均成長率4%向上」を目指す事業計画に取り組むもの。

補助率と補助上限額

従業員数	補助率	補助上限額	大幅な賃上げを行う場合
5名以下	中小企業 1/2	750万円	1,000万円
6～20名		1,500万円	2,000万円
21名～50名		3,000万円	4,000万円
51～100名	小規模・再生 2/3	5,000万円	6,500万円
101名以上		8,000万円	1億円

第5回公募
スケジュール

公募開始日／2025年12月19日(金)
申込受付開始日／2026年2月上旬(予定)
公募締め切り日／2026年2月下旬(予定)

カタログ注文型・一般型それぞれ要件が異なりますので、必ずそれぞれの公募要領をご確認ください。
カタログ注文型・一般型は、補助対象経費が異なれば併用可能です。

<中小企業省力化投資補助金ホームページ>

本事業の詳細や対象製品のリスト（カタログ）、公募要領などはこちらから ➡
<https://shoryokuka.smrj.go.jp/>



<お問い合わせ>

中小企業省力化投資補助事業コールセンター

ナビダイヤル／0570-099-660

IP 電話などからのお問い合わせ／03-4335-7595

※受付時間／9:30～17:30（土・日・祝日除く）

◆全都道府県にインフォメーション窓口を設けています。

インフォメーション窓口の利用にはHPより**事前予約**が必要です。

香川県省力化補助金事務局（香川県中小企業団体中央会）

高松市今里町6番地15

商工中金だより

お客さまのライフステージごとの経営課題に着目し、特に商工中金として事業性評価能力を向上し、積極的に強化していく3つの分野(カテゴリーS・E・T)を「差別化分野」と位置付けました。お客さまの企業価値向上とともに、商工中金自身の長期的な収益基盤拡大や適切なリスクテイクを通じた持続的成長のため、今後、積極的に対応力向上を図っていく分野です。

Startup (スタートアップ支援)

スタートアップ特有の課題を踏まえた
一気通貫のサポート

- ▶ファイナンスを中心とする適切なリスクテイク
- ▶メザニンファイナンス、外部アライアンスの活用
- ▶ビジネスマッチングを通じたセールスサポートの強化

Esg (サステナブル経営支援)

“SPEED”の視点*を活用した
事業性評価やお客さま支援を推進

- ▶CO2排出量削減コンサルティング等、サービス拡充
- ▶従業員エンゲージメント向上、BCP策定支援等
- ▶中小企業組合、関係会社等との連携

*商工中金が独自に定めた、組織・職員のサステナビリティに対する取組みの基本的な視点。
SPEED・・・Sustainability, Productivity, Empathy, Ecology, Digitalの頭文字

TurnAround (事業再生支援)

専門性向上と対応力の底上げにより、
事業再生のトップブランドを構築

- ▶経営危機の未然防止と危機状態からの脱却支援
- ▶多様なキャリアを持つ専門チームによる高度な支援
- ▶人的資本の充実に向けたサポート強化

〈お客さまライフステージ〉



本業支援 事業性評価を起点とした本業支援
○ビジネスマッチング ○海外展開支援 ○事業承継 ○M&A 等

金融支援 お客さま支援の基本となる金融支援
○資金繰り対策融資 ○セーフティネット機能の発揮 ○財務構築改革支援
○成長投資支援 等

なお、詳細につきましては、商工中金
高松支店までお問い合わせください。
【お問い合わせ先】
株式会社商工組合中央金庫
高松支店
〒760-0052 高松市瓦町 1-3-8
TEL.087-821-6145
FAX.087-851-6074

日本政策金融公庫だより

地域経済の産業活動の維持・発展のために、事業の譲渡、株式の譲渡、合併などにより経済的または社会的に有用な事業や企業を承継・集約する中小企業者および事業を承継・集約される中小企業者の資金調達の円滑化を支援します。
詳しくは、支店の窓口までお問い合わせください。

○事業承継・集約・活性化支援資金の概要

ご利用 いただける方	1 中期的な事業承継を計画し、現経営者が後継者(候補者を含みます。)と共に事業承継計画を策定している方 2 安定的な経営権の確保等により、事業の承継・集約を行う方および当該事業者から事業を承継・集約される方 3 中小企業における経営の承継の円滑化に関する法律(経営承継円滑化法)第12条第1項第1号の規定に基づき認定を受けた中小企業者(同項第1号イに該当する方に限ります。)の代表者、同法第12条第1項第2号の規定に基づき認定を受けた個人である中小企業者または同法第12条第1項第3号の規定に基づき認定を受けた事業を営んでいない個人の方 4 事業承継に際して経営者個人保証の免除等を取引金融機関に申し入れたことを契機に取引金融機関からの資金調達が困難になっている方であって、公庫が融資に際して経営者個人保証を免除する方 5 事業の承継・集約を契機に、新たに第二創業(経営多角化・事業転換)または新たな取組みを図る方(第二創業後または新たな取組み後、おおむね5年以内の方を含みます。)	
お使いみち	「ご利用いただける方」の1に当てはまる方が、事業承継計画を実施するために必要な設備資金および運転資金 外	
融資限度額 (いずれも別枠)	国民生活事業	7,200万円(うち運転資金4,800万円)
	中小企業事業	14億4千万円
ご返済期間 (うち据置期間)	設備資金	20年以内<うち据置期間5年以内>
	運転資金	10年以内<うち据置期間5年以内>
利率(年)	国民生活事業	基準利率、特別利率A、特別利率B
	中小企業事業	基準利率、特別利率①、特別利率②
担保	お客さまのご希望を伺いながらご相談させていただきます。	

〈支店窓口〉株式会社 日本政策金融公庫 高松支店
URL: <http://www.jfc.go.jp>
〒760-0023 高松市寿町 2-2-7 いちご高松ビル 2・3階





国民生活事業(2階) Tel.0570-085-298 Fax.087-822-9274
中小企業事業(3階) Tel.087-851-9141 Fax.087-822-1423
農林水産事業(3階) Tel.087-851-2880 Fax.087-822-7350

原材料価格の上昇、人件費の増加、物価上昇に伴う 消費低迷から売上高DIと景況DIが悪化した。














































2025年11月

製造業	食料品 	<ul style="list-style-type: none"> ●大手製粉会社より家庭用小麦粉製品(3品目)、乾麺製品(1品目)の価格改定の発表があった。10月1日から輸入小麦の政府売渡価格が改定されたため、来年2月2日納品分から約0.5から0.8%値下げの予定である。一方、その他の原材料価格や製造コスト、包装資材代、物流費等のコストは継続して上昇しており、来年3月2日納品分より乾麺製品(1品目)約20%値上げの予定である。(製粉製麺) ●年末に向け、製造量及び出荷量が増加している。伸び率は前年と変化はない。商談会の結果を組合で把握できるのは1月の集計となるが、前回の商談会で成果のあった1社は今年も販路拡大しているとの報告があり、他社の販路拡大も期待している。(味噌) ●日本冷凍食品協会による9月の冷凍食品生産数量は昨対98.7%となった。カテゴリー別にはフライ揚げ物類89.6%、フライ類以外の調理食品101.1%、菓子類102.6%となり、フライ類以外の調理食品及び菓子類が前年を上回った。業態別では市販用が95.4%、業務用が104.8%となり、業務用は好調に推移している。今秋の米の取り引き価格が上昇したことにより、直接米を使用した製品の値上げに加えて、米を使用したメニューに使われる食材の値上げ価格にも影響がでる可能性がある。いずれにしても様々なコスト上昇により、経営課題は山積している。(冷凍食品) ●人手不足感がある。(パン)
	繊維工業 	<ul style="list-style-type: none"> ●秋が短くすぐに冬が到来する昨今は実需期も短くなった気がしてならないが、寒くならないと売れない手袋を如何に寒くない時期に売るか課題かもしれない。また、業界での課題抽出についても、皆さん声が多いのは、需要の停滞、それから製品ニーズの変化への対応が問題点として洗い出されているが、いずれも根深く、現実的な打開策は見いだせない状況である。(手袋)
	木材・木製品 	<ul style="list-style-type: none"> ●香川県は国内でも有数のコタツの産地であるが、年々需要も減りつつあり、県内のコタツ製造事業者の業績は悪化している。物価高で様々なモノの値上がりや響き、家具への消費意欲はかなり薄れている感じがする。(家具) ●7ヶ月連続して新築住宅着工数が減っている。製品市場でも原木状況などから製品の入荷量が減少しているため、希望の製品が集荷しにくくなっており、販売店での仕入量、販売量の低迷状態が続いている。(製材) ●業況は着工戸数も減少し、価格安定もなく悪いまま推移している。(木材)
	印刷 	<ul style="list-style-type: none"> ●11月の売上は前年同月に比べ、ほぼ横ばいの数字である。そのため、雇用人員も過剰にならないよう抑え、固定費が圧迫しないように注意し、利益を確保していきたい。
	窯業・土石製品 	<ul style="list-style-type: none"> ●猛暑が明けるのを待って秋から動き出した受注は一通り出荷を終えて一段落してしまった。全体的に仕事の量は減っている。(石材加工)
	鉄鋼・金属製品 	<ul style="list-style-type: none"> ●11月は季節柄忙しくなっている時期だが、状況が悪い組合員の会社はさらに悪化しているようである。周りの状況から、仕事全体の総量は悪化し続けている印象がある。(鉄鋼) ●鉄骨需要の県内物件を対象としているFABは苦戦をしているが、組合員間の格差はあるものの県内外物件の加工協力で全体的な工場稼働率は一定程度確保できている。しかし、鉄骨技能資格者不足・受注物件の遅延・価格競争の激化など課題も多い。(建設用金属)
	輸送用機器 	<ul style="list-style-type: none"> ●前月同様に安定操作が続いている。業況に変化はない。(造船)
	その他 	<ul style="list-style-type: none"> ●昨年末に会員組合が解散し、職人の減少もあり、連合会での受発注が厳しくなっているが、他の業者に割り振ることで昨年と同量程度の受注ができた。丸亀うちわミュージアムとしては、1回に30から40人のボーランドからの団体の予約が入らなくなり、体験、うちわの売上は減少傾向かと思われたが、国内の団体が増えてきているので平均を保っている。(団扇) ●物価高の影響がある中で、瀬戸内国際芸術祭の期間とインバウンドの個人客が増えて、小売業は昨年より売上が伸びたようである。漆器業界も伝統工芸の展示会の客数が伸びた。年末にかけて販売数も期待される。(漆器) ●病院関係の経営悪化で業務用は減少傾向にある。一般の寝具小売店はあまり良くないようである。(綿寝具)
非製造業	小売業 	<ul style="list-style-type: none"> ●一部の野菜(トマト)の高騰が続き品揃えが難しく、また、虫害を受けた商品のクレーム対応に追われた。(青果物) ●ガソリンの暫定税率廃止に向けて11月に2回、12月に1回と補助金が増える(価格が下がる)タイミングがある。11月13日に5円補助金が増えたタイミングでは、高い税率で仕入れた在庫があるにもかかわらず価格を下げて販売する安売業者があり、その影響で組合員によっては、税金の負担を負ってでも追いつけずをえない地域もあるようである。よって利益が圧迫される可能性が今後も十分にある。(石油) ●秋から徐々に冬へという季節感がなく、客も購入のタイミングが分からなかったようである。中途半端に寒い初冬で、暖房機もほとんど売れていない。10月11月は特によくなかった。(電機)
	商店街 	<ul style="list-style-type: none"> ●総じて景気は悪くないと思われるものの、物価高が止まらないことから消費者の財布のヒモが固い傾向が続いている。ただ、株高や少しずつではあるが所得の改善もあり、節約には心掛けながら、使うところには使う、少々出費がかさんでも手に入れたり、イベントに参加したりとの需要もあり、いかに顧客のニーズをくみ取れるかが売上浮揚のカギになるものと思われる。ガソリンの暫定税率廃止に始まり、政府による目に見えたり、実感の持てる経営対策が次々と打ち出されれば、消費の歯車も回り出すものと思われ、期待している。10月末にオープンした人気ショップの集客力は相変わらず高く、商店街も前年に対して10~15%増の通行量であり、しばらくはこの状態が続くものと感じている。またこのところ、飲食店を中心に新規出店が近隣の商店街を含めて数多く起きており、賑わいや真新しさに貢献してもらっている。しかしながら、店舗スタッフの確保には一苦労あり、人件費も高止まっており、採算が合わず、オープンしてわずかな期間で撤退を余儀なくされる事態も発生している。今後も県はサンポート地区の賑わい創出のため、イベント等に力を入れて開催する見通しであることから、サンポート地区の集客を今まで以上に商店街へとつなぐ工夫や仕組みの拡充が必須となってきている。(高松市①)

11月の県内景況は、前年同月と比べて売上高DI値は-20.8ポイントで前月調査の-2.1ポイントから18.7ポイントの悪化、収益DI値は-27.1ポイントで前月と同値、景況DI値は-33.3ポイントで前月調査の-29.2ポイントから4.1ポイントの悪化となった。

非製造業	商店街 	<ul style="list-style-type: none"> ●11月はインバウンド客の減少等が心配されていたが、各所で多彩なイベントが開かれ家族連れや若い人たちも夕方から来街され賑やかさが増している。物販店は厳しい状況であるが、飲食店は頑張っている。満席で並ぶ店が数店あり、社長自ら笑顔で待ち客を誘導する姿を見るといい街だなと心が温くなる。(高松市②) ●11月は円安による価格上昇の厳しい商戦ではあった前年をクリアできたが、12月は我々の業界のメーカーが赤字転落となるなど厳しい状況になりそうである。(丸亀市①) ●消費の業況は相変わらず低迷したままで、「余計なものは買わない」という生活者の姿勢は続くことが予想される。「年末商戦」という言葉は、完全に過去のものになると予想する。11月21日～22日の2日間、丸亀市と丸亀製麺・トリドールが共催して、「丸亀うどん祭り2025」が開催された。お城祭りのような驚くほどの人が出て来て、商店街もキッチンカーが並ぶなど賑わった。このようなイベントの人手を活用して、一軒一軒の店が販売に結び付く行動に出ればベストだが、個店の体力・気力が残念ながら、備わっていない。11月22日には、商店街にイルミネーションが点灯され、駅前と丸亀城を結ぶ「光の道」が作られた。いろいろな市民団体も関わって行っているが、商店街との「協働の仕組み」が、いつもながらの課題としてある。(丸亀市②) ●大企業の（リストラによる）空前の好決算ニュースとは別の商況が続いている。消費者は経済的に買い控えるし、また、買わなくても済む工夫をしている。家族の為の支出はある程度必要としても自分自身の贅沢や褒美などは無くて世間並みの同調意識が風潮である。末端事業者としては、売上額を増やす（そもそも増えない）より、経費や支出を減らす努力をするのが大きい仕事である。やはり、負のスパイラルは抜けていない。(観音寺市)
	サービス業 	<ul style="list-style-type: none"> ●美容師の離職率が問題視されている中、(公社)日本理容美容教育センター令和6年度調査によると、養成施設を卒業後、1年以内に理美容所を退職した者は19.7%、3年以内に退職した者は40.9%で、そのうち美容関連に転職した者が65.8%、美容関連以外に転職した者が34.2%との報告があり、県内各美容所においても少子化のなか、経営上の大きな問題で各店対策に頭を痛めている。(美容)
	建設業 	<ul style="list-style-type: none"> ●各金融機関において、2027年4月以降、手形の取立受付が中止される。建設業界は、慣例等により小切手、手形での支払いが現在でも少なくない。2027年4月をもって、手形での支払いを受け付けられないにするとする方法もあるが、工事は施工後(受渡後)の支払いウエイトが大きい事もあり、手形での支払いがやむを得ないケースもある。その為、当組合でも、電子記録債権の利用を決定した。公共工事では、前払金制度の充実、手続きの簡素化等が喫緊の課題と言える。(総合建設)
	運輸業 	<ul style="list-style-type: none"> ●令和7年10月の輸送実績は対前年同月比で営業収入103.7%、輸送人員は114.5%と増加した。(タクシー) ●令和7年10月分高速道路通行料金利用額の対前年同月比は1.9%減となり、対前月比では5.9%増となった。また、10月分利用車両数の対前年同月比は1.8%減となった。(トラック) ●公益財団法人日本トラック協会が11月14日に発表のトラック運送業界の景況感(令和7年7月～令和7年9月期)によると、業界の景況感は、一般貨物の輸送数量減少、燃料価格の高止まりや物価高による運送原価の上昇分を十分転嫁できず、営業利益・経営利益は悪化傾向にあり、景況感は前回▲20.0から▲24.1へ4.1ポイント悪化した。来期の見通しは、事業環境の不透明感や人材不足、物価上昇等を織り込み、景況感は今回▲24.1から▲29.4へ5.3ポイント悪化する見込みである。(貨物)

香川県内の業種別DI値の変化(対前年同月比)

	売上高	収益状況	業界の景況
製造業	食料品 		
	繊維工業 		
	木材・木製品 		
	印刷 		
	窯業・土石製品 		
	鉄鋼・金属製品 		
	輸送用機器 		
	その他 		
非製造業	卸売業 		
	小売業 		
	商店街 		
	サービス業 		
	建設業 		
	運輸業 		
	その他 		

※集計結果の詳細は、本会ホームページ上でご覧になれます。
<http://www.chuokai-kagawa.or.jp/>

DI値の推移(対前年同月比)

